

熊本大学大学院法曹養成研究科 平成24年度法学既修者認定試験問題

刑事訴訟法

平成23年9月18日(日) 10:00~12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい（配点：100点）。

熊本北署の司法警察員 A と B は、X に窃盗(書籍 3 冊、5,000 円相当)の嫌疑があるとの情報を得て、平成 23 年 7 月 22 日午前 7 時頃、いずれも私服で B の自家用車に乗って、市内黒髪にある X 宅に赴き、門扉を開けて玄関先に行き、そこから「X さん、警察のものです。ちょっと尋ねたいことがあるので、上がってもよろしいか」と声をかけ、それに対して X の承諾があったとは認められないにもかかわらず、X 宅玄関から屋内に上がり、X のいた奥八畳間に入った。司法警察員兩名は、ベッドで目を閉じて横になっていた X の枕元にたち、X に同行を求めたところ、X は金融屋の取立てだろうと勘違いして、「わしも、市役所まで行く用事があるから、一緒に行こう」といい、着替えを始めた。そこで司法警察員兩名は、玄関先で待ち、出てきた X を前記車両後部座席に A と並んで座らせて、B が運転して、同日午前 7 時 30 分頃、熊本北署に到着した。到着するや直ちに司法警察員兩名は、黙秘権を告げて、X に対する取調べを開始し、同日午後 4 時頃に X から窃盗の自白を得たが、その間、同日午前 9 時頃と 11 時 30 分頃の二度にわたって X は「今日の午後 1 時までに、運転免許センターにいて、タクシー乗務員になるための試験を受けなければならないので、退出させてほしい」と願い出たが、司法警察員兩名は全く取り合わなかった。

司法警察員 A・B が X に対してとった行為の適法性について論じなさい。

以上